

同時発表：丹後記者クラブ

平成27年9月25日

留学生がモデルコースチェック！～海の京都・京丹後編～ 産業観光モデルコース設定支援事業を実施します

近畿経済産業局では、9月30日に京都府京丹後市において、留学生による地域の産業観光モデルコースの体験事業を実施します。外国人目線でのアドバイスを活用してコースの検証をすることで、関西の魅力を再発見し、関西が誇る産業の魅力を海外へ発信します。

留学生による体験の様子について、ご取材をお待ちしております。

【概要】

地域が持続的に経済発展を続けるためには、地域資源を活用した海外からの集客の一層の増大が重要であり、地域資源のひとつである産業観光への期待が高まっています。そのため、地域資源の魅力を発信し、海外からの集客を増大させるためには、単独の産業観光施設の紹介だけでなく、地域のストーリー性を持たせたコース設定が必要です。

今回も昨年度に実施した産業観光モデルコース設定支援事業・滋賀編、京都編及び奈良編に続き、留学生(Kansai Tourism Supporters^(※))が、その地域の産業・歴史・文化を勘案したモデルコースを体験します。

本事業では、このモデルコースが、京都府京丹後市の魅力発信につながるものであるかを検証するとともに、留学生によるSNSを通じた日本語及び母国語での情報発信に加え、当局ウェブサイトにおいてもモデルコース及び留学生の体験レポートを紹介し、地域の魅力を海外へ発信します。

なお、本事業は、京丹後市並びに(公財)都市活力研究所等の協力の下、実施するものです。

※ (公財)都市活力研究所が、外国人留学生を組織化して、観光プロモーションやまちづくりイベント等の現場に派遣することにより、外国人目線でのコンテンツの評価や母国語で関西の情報発信を行う「Kansai Tourism Supporters」事業を実施。

実施日：平成27年9月30日(水)

実施場所：京都府 京丹後市

スケジュール：(ご取材の場合は、以下の各施設に直接お越し下さい。)

9:00～ 9:30 京丹後市 中山市長表敬

10:00～10:40 丹後ちりめん織元 たゆう(田勇機業株式会社)

(京都府京丹後市網野町浅茂川 112)

< <http://www.tayuh.jp/> >

✓ 丹後ちりめんの製造工程見学

11:00～11:40 アミティ丹後(公益財団法人丹後地域地場産業振興センター)

(京都府京丹後市網野町網野 367 番地)

< <http://www.tango.jibasan.jp/> >

✓ 丹後ちりめんハンカチ染色体験

13:40～14:20 琴引浜ガイド付き鳴き砂体験

✓ 「琴引浜」:全長 1.8kmにわたる白砂青松の美しい浜。

14:40～15:20 大成古墳群より「立岩」展望

✓ そそり立つような姿が日本海と相まって美しいコントラストを醸し出している高さ約 20mの柱状玄武岩の自然岩。

※モデルコースの時間は、あくまで目安であり、交通事情などにより変更となる場合があります。

コーステーマ:「海の京都・京丹後市をめぐるコース」

「海の京都」京丹後市は、美しいリアス式海岸や砂丘をはじめ、雄大な自然に囲まれた地域です。

多彩な地形が生み出す気候風土により、伝統産業の丹後ちりめんが生まれ、そして、山海の幸にも恵まれており、自然・歴史・伝統・食の魅力を余すことなく味わうことができます。

また、平成 27 年 7 月には、京都縦貫自動車道が全線開通したことによりアクセスが大幅向上。さらに大阪・京都から高速バス一本で行くことができ、より簡単に、より身近に京丹後市の魅力を感じることができます。

留学生による魅力発信方法:

- ✓ SNSを通じての日本語及び母国語での発信
- ✓ 当局ウェブサイトでの施設体験レポート紹介及びモデルコースの紹介

主催:近畿経済産業局

協力:京丹後市、(公財)都市活力研究所、INVEST 関西会議、近畿運輸局

(参考) 留学生がモデルコースチェック!～滋賀編・京都編～
産業観光モデルコースのトップページ (日本語及び英語で掲載)
http://www.kansai.meti.go.jp/2kokuji/tvlist/tvindex_2.htm

【各メディアの皆さまへ:事前連絡のお願い】

当日取材を希望される方は、平成27年9月28日(月)17時までにご連絡頂きますようお願い致します。

(本発表資料のお問い合わせ先)
近畿経済産業局 投資交流促進課
担当者:柳澤、池垣
電話:06-6966-6033



天の橋立 回旋橋



傘松公園展望台より「股のぞき」



伊根湾めぐり遊覧船から舟屋の見学



京丹後市 中山市長を訪問



丹後ちりめん工場の見学



アミティ丹後にて染色体験



琴引浜の「鳴き砂」体験



山陰ジオパーク「立岩」見学

○行く前までに持っていたイメージ

前に天橋立に行ったことがあるので、景色が独特で、上から見たときのポーズも面白いと思っていました。

○今回、最も印象に残った点

市役所の壁に貼っていたロシア語での挨拶、浜泣き砂ビーチの独特な砂や温泉、昔のあの地域の大陸との繋がりは全部とても印象的でした。

○交通手段について

近藤さんからもらった説明ぐらいあれば、バス停がわかりやすいです。

直接のバスがあるとは知りませんでした。大阪から行くなら、とても便利だし、バス停はギブリショップに近いので、外国人の興味を引いたツアーもなりたてそうです。大都市の大阪、少しのアニメ — 伝統的な生というツアー、つまり現代の日本と伝統的な日本をテーマにしたツアーができると思います。

ひとりで 行く人のために、英語で「降りるお客様はボタンを押してお知らせください」と前の画面に書いたらいいと思いました。

○食事について

旅館での食事は刺身の好きな私にとってとても馴染みのある料理と感じられました。

また、ロシア人は刺身は好きか、絶対食べないかのグループに分かれています。刺身の好きではない人はお肉を食べたレストランで食べたくなると思います。そのレストランはあまりにもロシアのレストランに似ていて、和食を食べたくないけどおいしく食べたい人にとって満足に行けると思います。

○案内表示・地図・サイン

一人で高速バスで来て、レンタルサイクルは見つかるはずですが、ジェオパーク、泣き砂ビーチなどは見つけるか自信がないです。もう少し自転車の人向けの案内があればうれしいです。

○どんな旅行者に向いているか

ちりめん工場は日本の伝統やビジネスのやり方に興味のある人に向いている。

キャンプ場とビーチが近くにあり、立岩にロッククライミングもできるそうなので、キャンピング、ハイキングの好きな人に向いてると思います。

ドラマの好きな人(日本人の映画に関係する人と通訳者によるビーチでのドラマリクリエーションなどができるし)

○自国の人に特にアピールできる点

ロシアと日本の共通歴史(京丹後と大陸の歴史的な、字形的な繋がり)、市長さんのロシア語バックグラウンドはロシア人にとって印象的になるとはまずです。

ロシアのお年寄りの男性の多くは「どんな問題でも科学で解決できる」という教育を受けている結果、物理学に興味がある。砂の特徴、ビーチの温泉は彼らにとって関心の引く現状になると思います。

日本人の別荘とロシア人の別荘(村の家)を比較できるツアーは楽しめる内容だと思います。

一番に、市役所に挨拶している女の方は日本人の礼儀正さのイメージを強めると思います。ロシア人は、彼女のお仕事は市役所に来た市民を歓迎し、いい気分させる役割をすると知った瞬間に、きっと「わ～」とびっくりすると思います。

○その他

丹後ツアーについて(Fa hui ホウ)

○ 行く前までに持っていたイメージ

天橋立とは日本三景であることを知っていて、前から行きたかったけれども、やはり交通不便というイメージがあるので、ずっと行けなかった。それで今回行く前にすごく楽しみにしていた。

京丹後についてだが、正直にいうと、あまり聞いたことがないので、行く前はイメージができなかった。

○ 今回、最も印象に残った点

やはり景色が素晴らしかったというところだと思う。天橋立は本当に絶景だと思うし、丹後の海も想像上にきれいだったし、船屋も日本に珍しい観光スポットだと思う。

○ 交通手段について

自分で旅行のプランを作る時には電車で行くという考え方しかないので、今回のツアーでバスの便利さがすごく分かった。ただし、天橋立から船屋までや2日目の丹後ツアーでは、やはり自分で運転しないといろんなところが回れないと感じた。シャトルバスがほしい。景色がすばらしいこともあって、もし可能であれば、自転車でのツアーコースなども考えればいいではないかと思う。

○ 食事について

海鮮丼がおいしかった！あと、2日目の昼食も想像超えの美味しさだった。特にご当地食材で調理したサラダは新鮮でおいしかった。

○ 案内表示・地図・サイン

今回のツアーではすべて車移動ということなので、案内や地図などにあまり気づいてなかったが、確かに英語や中国語の表示はなかったというイメージだったが、市役所からもらったガイドブックに載せてある手書き風のち地図があって、名所や名物などいろいろ詳しく可愛く書いてあるので、これらの英語や中国語バージョンを作ればいいと思う。

○ どんな旅行者に向いているか

子連れの家族旅行に向いているのではないかと思う。なぜかという、自然景色の体験とハンカチ染色など文化的体験両方できると思う。それに、丹後王国では子ども向けの施設も多く、一家で楽しめるのではないかと思う。

あとは関西に何度も旅行してきたことのある外国人観光客にも向いていると思う。京都や大阪に比べると観光客が少ないし、京都とまだ全然違う雰囲気味わうこともできる。隠れ宿や景色を求める上級者の観光客に是非お勧めしたいと思う。

○ 自国の人に特にアピールできる点

- 1) 日本三景の一つである天橋立の絶景
- 2) 沖縄の海にも負けない丹後の海
- 3) 新鮮な食材を使ったご当地グルメ
- 4) 都市から離れた自然とのふれあい

丹後ツアーのレポート 唐思南

○行く前までに持っていたイメージ

行く前まで、日本三景の天橋立しか知らないでした。

○今回、最も印象に残った点

静かな雰囲気は想像しましたが、公園の股のぞきから、覗いてみると、景色は天国に続く道のように見えて、思った以上何回見ても飽きない景色です。

○交通手段について

観光客はもし伊根町にいきたいなら、ちょっと手間かかりそうな感じです。もし日本語がわからない場合はもっと不便だと思っています。

○食事について

対橋楼は廻旋橋の近いところで、古風な造りで落ち着けます。海鮮丼はなかなかのボリュームと沢山のネタが乗っていて大満足でした。ゆっくりと食事が出来るところで、友達にも紹介しようと思います。

○案内表示・地図・サイン

傘松公園の展望台で、外国語のサインがないです。外国人の観光客がもし股のぞきで見ることを知らないと、天橋立の絶景がうまく見えないと思います。

○どんな旅行者に向いているか

初めて日本に来る観光客じゃなく、二回目、三回目の人に向いてると思います。なぜかという、京丹後は大人気の都市大阪、または京都に離れて、二三日ぐらいかかって、のんびり休めるところで、もっと余裕がある観光客に向いていると思います。

○自国の人に特にアピールできる点

京丹後は歴史情緒あふれる町並み、日本三景の天橋立、きれいなスピーチも揃う、休みの時、のんびり過ごせるところです。

○その他

丹後は中国大陸であんまり有名ではないところで、ソーシャルメディアとか、空港のパンフレットとか、いろいろな手段を使って、宣伝すれば人気になれると思っています。